

第41回広島矯正管区教誨師研修大会

研修事業評価委員会議事録

1 実施日

平成26年6月27日（金）

2 場所

松江東急イン（島根県松江市朝日町590番地）

3 参加者

- (1) 大会委員長他教誨師3名
- (2) 広島矯正管区成人矯正第二課（二課長，専門職）
- (3) 松江刑務所（教育）（教育統括，教育主任）

4 実施方法

財団法人JKAに対する完了報告書には、「事前評価／自己評価書」の添付が義務付けられており，研修大会終了後には事業評価委員会を開催して研修大会を総括する必要があることからあらかじめ出席者にアンケート用紙を配布しておき，研修大会終了時にアンケートを回収し，研修大会の成果等について評価した。

アンケート結果については，別添とする。

5 アンケート内容（抜粋）

(1) 研修テーマについて

- ア 教誨に沿ったテーマだった。
- イ 教誨の意義について，改めて確認できた。
- ウ 現代社会にマッチしていて適切だと思います。
- エ わかりやすく親しみのあるテーマだった。
- オ 講師の選択にあらわれていた。

以上の意見が主だったものであり，研修の目的に沿ったテーマとなっており，参加者に共感を得た事業ができており，大会自体が成功であった。主題，副題の趣旨が研修の内容に伝わっており，非常に良好であった。

(2) 研修の成果について

- ア 講演が良かった。特に2日目の講演は良かった。
- イ 普段聞くことのできない内容もあり良かった。
- ウ 知らないことを学べたし，松江の文化にも触れ合うことができた。
- エ 教誨師の方々等の多くの人のお力が必要なのだと感じました。

オ 他施設の先生方と交流でき、貴重な意見交換の場となった。

研修は、基調講演、特別講演及び記念講演の3つの講演が用意され、矯正の現状、島根県の史実、社会問題の3つの内容について触れられ、教誨師に対し、教誨活動につながる有益な情報を伝えたものであった。

実践的教誨を目指したねらいにかなった研修大会となり、効果的な研修で成果としても今後の教誨活動に対し、期待できるという意見が多く見られた。

総括

本研修大会は、出席者である教誨師の教誨活動に密接した研修内容であり、教誨師の興味に沿った研修内容が選定されており、実践的教誨に近づくよう計算され企画できていた。

今後、教誨師が教誨活動を実施するにあたって、今回の研修は、矯正の今を通じ、社会の幅広い声を聞き、専門家のメッセージを感じ取ること、有益な情報を知り得ることができ、被収容者に対しての再犯防止につながる教養を高め、教誨に生かすことができたものと実感している。

今後においても教誨師が研修に際し、一同に会し、研修を受けることができれば、幅広く、奥深い内容の研修を受けることで教誨活動の実践に移すことが可能な教養を身に付けることができるとともに教誨師双方の情報交換の場が設けることとなり、これらを考えれば、研修の存在に意義があり、継続して実施されることが必要であろうという意見をもって評価委員会を終了した。